

# しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

第37号

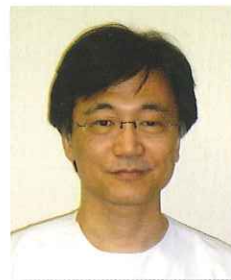
発行日：平成29年10月

〒722-8503  
尾道市新高山3丁目1170-177  
tel:0848-47-1155  
fax:0848-47-1004  
<http://onomichi-hospital.jp/>

院内広報誌  
第37号

## 尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で  
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



### ごあいさつ

副院長兼健康管理部長 水戸川 剛秀

みなさん、こんにちは。

副院長兼健康管理部長の水戸川です。

日頃より尾道市立市民病院の診療、運営面に多大なご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

この冊子が皆様のお手元に届くころには猛暑も過ぎ、熱中症も落ち着いてきた頃と思います。皆様は夏の疲れが出ないよう体調管理に注意されていますか？私も、一般業務に加えて副院長としての管理業務や救急全般にも携わり、日々救急車からのホットライン対応に追われる毎日ですが、時間を見つけては陽が暮れてからの散歩をしながら体調管理に気をつけております。

内科系副院長として、内科系医師減少という心苦しい話題ですが、避けては通れない問題なので、始めに述べさせていただきます。

内科医師減少による救急業務の制限は、ここ数年当院の最も深刻な問題の一つです。数年前には内科医師6名、呼吸器内科医師3名、計9名も在籍していた内科系医師が毎年減少していき、今年の4月にも内科常勤医師が1名退職して僅か3名になりました。大学からの非常勤医師の応援も減り、苦渋の選択で内科医師の夜間当直不在の日を設定しました。ただし、当院かかりつけの患者さんについては可能な限り診療を行うよう、外科系医師の協力を得ながら今できる救急運営を行っております。

また市民病院に併設されていた尾道市立夜間救急診療所も門田町の総合福祉センターの敷地内に移転して3年が経過し、夜間3時間の診療時間ではありますが、昨年8月から土日休日、年末年始、毎日休まず診療できるようになりました。救急患者が行き場を失わない体制が構築されましたことを本当にうれしく思っています。この新しい夜間救急診療所の開設にあたってご尽力いただいた関係各位の皆様に深謝申し上げます。

当院がこのような厳しい状況に置かれていることを市民の皆様にもご理解いただきたく、負の話題ですが敢えて述べさせていただきました。当院救急体制の詳細な情報は当院ホームページに掲載しておりますので

ご参照ください。

明るい話題としては、現在初期研修医が3名在籍して研修に励んでおり、毎日が新しい経験の積み重ねで、その真摯な姿勢にまぶしさも感じつつ、我々もパワーをもらっています。来年にはフルマッチで3名の卒後一年目の研修医が当院で医療人としてのスタートを切ってくれることになりそうです。研修医が当院を研修先として選択してくれた状況を十分に理解し、この流れを切らさないように次世代の医療人を育てる役割も果たしていきたいと思っております。もちろん、市民の皆様にも質の高い安全な医療を提供し、市民の皆様様の健康を守っていくことを第一義に考え、診療を続けてまいります。

健康管理部長として当院の職員の健康を守り、万全な状態で安全な医療を提供することも私の役割の一つです。また予防医学の点から健診・人間ドックを充実させることも今後の課題です。今年からMRIも2台体制となり、救急対応以外にも脳ドックの枠を広げることができました。マンパワーの点などから今すぐの実現は困難ですが、かねてからご要望の高い健診・人間ドックの拡充及び専門ドック(心臓・乳腺など)の新設など、各診療科と協力して実現に向けて努力してまいります。

我々が置かれている医療環境は日々目まぐるしく変化しているため、既存の考えを改めたり、新たな価値を付け加えたりするような改造・改革を必要としています。地域医療構想、地域包括ケアシステム、医療・介護同時改定、新専門医制度、働き方改革など、医療界を取り巻く環境はあわただしく動いています。そのような中で、尾道市立市民病院が地域に根差した医療機関として新たな価値を見出すべく、市民の皆様と信頼関係を構築できればと思います。そのためには、多施設・多職種連携にも職員とともに微力ながらも尽くしていく所存です。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## テルモメディカルプラネックスでのシミュレーション研修を終えて

去る9月23日～9月24日、神奈川県にある総合医療トレーニング施設テルモメディカルプラネックスにおけるシミュレーション研修に、当院と公立みつぎ総合病院から医師10名+看護師4名の総勢14名で参加しました。当院からは研修医3名、みつぎ総合病院からは2名の研修医が参加しました。

テルモメディカルプラネックスは新たな医療技術の普及と創造を目指して設立されたトレーニング施設で、小田原駅から車で30分ほどの場所に位置します。当日はあいにくの曇り空でしたが、研修センターからは富士山を眺めることもでき、自然の豊かさを感じられます。到着

したらお弁当が準備されており、早朝の出発で朝から何も食べていなかったの、美味しくいただき、昼からの研修の活力となりました！

1日目は、まず施設内の見学を行いました。高齢者体験のコーナーでは、白内障による見えにくさや、身体の動かしにくさなどをみんなで体験しました。

シミュレーション研修では、医師と看護師のチームに別れて研修を行いました。医師の研修では、指導医のもと、研修医が皮膚縫合などの技術習得や急変患者の設定によるシミュレーションを行い、バックバルブマスクで補助換気など体験しました。看護師は在宅訪問のシナリオ



研修参加者(医師10名+看護師4名)



小田原駅



テルモ研修センターから望む富士山



テルモメディカルプラネックス

を設定してシミュレーションを行いました。その際DVDで撮影してもらい、振り返りに役立てることができました。

2日目は、急変時シナリオ設定にチームで取り組みました。シミュレーション後はみんなでDVDを見て振り返りました。心停止の場面設定もあり、院長自ら心臓マッサージのお手本を示し、研修医に指導していました。

今回の研修では、充実した施設で、最新の医療機器を使用しながらの実践的なトレーニングを行うことができました。知識・技術の習得に加えてシミュレーションの実践、振り返りを行うことで、チームでの連携と資質向上につながりました。2日間で学んだことを現場で存分に活かしていきたいと思います。



心臓マッサージ(院長がお手本)



皮膚縫合の実践



バックバルブマスクでの換気演習



看護師：在宅シミュレーション



2日目：急変時シミュレーション



高齢者体験  
(身体)



高齢者体験  
(視力)

## 平成29年度市民公開講座を開催しました

去る10月8日(日)、しまなみ交流館大ホールにおいて市民公開講座を開催いたしました。

今回は、「生活習慣病の予防と早期発見」をテーマに、当院の脳神経外科と循環器内科の医師2名が講演を行いました。

講演の内容は次のとおりです。

### 家族と自分の笑顔を守る 脳卒中の話 ～知っておきたい予防と早期発見法～



尾道市立市民病院  
脳神経外科  
大同 茂

脳卒中の患者数は全国で約118万人。また、全医療費の1割が脳卒中診療に費やされています。脳卒中の初期治療にかかる費用は平均100万円といわれており、その後のリハビリや維持療法で、費用はさらに膨らみます。また脳卒中は、死亡者数は減少傾向にあるものの、寝たきりや要介護になる方は増加傾向で、非常に多くの方が脳卒中のせいで日常生活に支障を来す状態となっています。

#### ●脳卒中とは

脳卒中は脳の血管が詰まったりやぶれたりして、脳の機能に障害が起きる病気です。血管が詰まるタイプのもので、脳梗塞や一過性脳虚血発作、血管が破れて出血するタイプのもので、脳出血やくも膜下出血などがあります。脳梗塞は脳卒中のおよそ4分の3を占める病気です。脳を栄養する動脈の閉塞または狭窄により、脳組織に十分な血液が行き渡らなくなり(脳虚血)、その部分が壊れてしまう病気です。残念ながら、一度壊れてしまった脳は治りません。一過性脳虚血発作(TIA)は、一旦脳卒中の症状が出現するものの、脳虚血が短時間で回復することにより、結果的に脳梗塞にならずに済んだ状態です。幸運ともいえますが、治療をせずに放置すると、およそ3分の1の方が、あとで本当の脳梗塞になります。脳出血は、脳の中の血管が切れて、血のかたまり(血腫)をつくる病気です。出血したときに、元々そこにあった脳は壊れてしまいますので、脳梗塞と同様、壊れた脳は治りません。くも膜下出血は、脳の太い動脈にできたコブ(脳動脈瘤)が破れて、脳の表面に広く出血する病気です。くも膜下出血は脳卒中の約5%と、少ないのですが、脳全体が壊れてしまうこともあり、最悪の場合は即死する可能性もありますし、元気に社会復帰できる

方は5人に1人という、こわい病気です。

#### ●早期発見のために

いろいろなタイプの脳卒中がありますが、どのタイプでも基本的に、できるだけ早く治療を開始することが重要です。脳梗塞・脳出血は時間経過とともに大きくなる傾向があります。くも膜下出血は再出血を起こすことがあります。それぞれ時間経過とともに脳へのダメージが増えます。早く治療を開始するためには、早く発見する必要があります。脳卒中の症状は、脳梗塞でも脳出血でも、基本的に、脳が一部壊れることによって出現し、その部分に関係する症状が出現します。壊れる場所や大きさはいろいろですので、症状もいろいろです。ただ、多くの場合、共通点があります。それは、「急に」症状が出現するという点です。また、多くの場合、「片方」に症状が出現します。たとえば、「急に、片方の顔や手足が動かなくなる」、「急に、片方の目が見えにくくなる」などです。くも膜下出血は例外で、頭痛のみということも多いのですが、「急に」というのは他の脳卒中よりもさらに顕著で、「突然の、経験したことがないような激しい頭痛」になることが多いです。脳卒中早期発見のために、自宅でも簡単にできるチェック方法があります。顔、腕、言葉でチェックする方法で、頭文字をとって「FAST」といいます。具体的には、F(フェイス)：顔がゆがむ。A(アーム)：片腕が上がらない。S(スピーチ)：短い文をスムーズに話せない、繰り返せない。T(タイム)：時間が大切で、前述3つのうち、1つでも当てはまれば、時間をおかずに直ちに救急車で病院へ行ってください。症状が出た時刻を記録していただくと、治療に大変役立ちます。なお、これらは自力でチェックできないこともありますので、周りの皆様のご協力が大切です。また、症状がすぐに治っても安心できません。前述した一過性脳虚血発作の可能性があるので、他の脳卒中と同様の対応が必要です。

#### 顔、腕、言葉で症状をチェック (FAST)

- F(フェイス):  
笑顔がゆがむ。
- A(アーム):  
両腕を前に上げると、片方が下がる。
- S(スピーチ):  
短い文をスムーズに話せない、繰り返せない。
- T(タイム):  
1つでも当てはまれば、  
時間をおかずに救急車で病院へ。



\* 症状が出た時刻を記録してください。

\* 周りの皆様のご協力が大切です!

## ●予防が大切

これまでに、脳卒中に関していろいろ述べさせていただきましたが、できることなら、脳卒中にはならず済むのが一番です。もちろん、逆らえない運命もありますが、生活習慣の改善や危険因子を管理することで、脳卒中になるリスクを下げることはできます。生活習慣の改善としては、第一に禁煙です。また、飲酒も多いと悪影響をおよぼします。その他、食事の塩分や脂肪分は控えめにしたり、適度な運動を継続的行ったり、太りすぎに気をつけるということも大切です。管理が必要な危険因子としては、高血圧、糖尿病、高コレステロール血症などです。一部の不整脈には脳梗塞の原因になるものがありますので、不整脈に気付けば、とりあえず一度は医療機関を受診してください。ただし、これらに気をつけていても、脳卒中になってしまうことはあります。そのようなときに先ほどの「FAST」が役立ちます。また、ときには検診も受けましょう。血液検査や心電図検査などで何か見つかって、脳卒中を未然に防げることもあります。病院によっては検診のオプションとして頭部MRIや頸動脈超音波検査を追加できることがあります。市民病院では人間ドックのオプションとして追加できます。

このたびの講演が少しでも皆様に役立てば幸いです。

## 生活習慣病と循環器疾患について



尾道市立市民病院  
循環器内科

山田 大介

生活習慣病には高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙などがあります。症状といっても特に初期はわかりにくいことが多く、高血圧でも収縮期血圧が200mmHgを超えるような方などが頭痛、吐き気などの症状がある場合があります。また、糖尿病では口渇、多飲、多尿が初期症状として言われています。どれも症状がほとんどなく、検診で異常を指摘されるような病気です。しかし、検診異常だけで見過ごされ、そのままになっているのが現状という人が多いのではないかと思います。この時点で医療機関を受診し、生活習慣の是正、治療を行っていくことが望めます。(1次予防)

なぜなら、この生活習慣病が原因で動脈硬化性疾患に罹患することになるからです。特に循環器内科に関与する疾患に狭心症、心筋梗塞、心不全(一部)という病態もありますが、これらは動脈硬化が原因で罹患する疾患でもあります。

狭心症の症状としては労作時の胸部圧迫感、胸痛などがあります。心筋梗塞の症状としては胸痛、心窩部痛、左肩痛、冷汗などがあります。心不全の症状としては呼吸困難、下腿・顔面浮腫などがあります。特に心筋梗塞に罹患した患者さんは心機能低下も伴い、心不全を併発することもあります。心不全症状を心筋梗塞発症時やコントロール不良時に併発することもあります。

狭心症、心筋梗塞、心不全のような病態に進展してくると、場合によっては突然死する方もおり、怖い病気となります。

状態にもよりますが、狭心症、心筋梗塞では血液検査、心電図、心エコーなどと併せて、カテーテル検査、冠動脈CT、負荷心筋シンチグラフィなどを行い、診断していきます。治療には薬物治療、カテーテル治療、バイパス手術がありますが、これだけでは治療終了にはなりません。

また、狭心症、心筋梗塞、心不全になった方も2度と同じような病気にならないためにも、生活習慣病の管理が大事になってきます。(2次予防)もちろん、このような場合は生活習慣病の目標とするコントロール値も厳格なものとなります。

つまり、生活習慣病から動脈硬化性疾患(狭心症・心筋梗塞・心不全)になり、死亡していくことが考えられます。生活習慣病の管理・治療がどの治療ステージでも大事になってくることとわかるかと思います。

尾道市立市民病院循環器内科では主に狭心症、心筋梗塞、心不全になっている患者さんの検査・診断・治療のお手伝いをしております。定期診察・検査はもちろん、生活指導、投薬治療、カテーテル治療、リハビリ治療などを行っております。

また当科では昨年10月より外来でリハビリを行っております。主に狭心症・心筋梗塞を起こされた患者さんや心不全でも歩いて外来通院できる患者さんを対象にエルゴメーター(自転車)をこいだり、ストレッチなどのような運動療法を行っております。心疾患での外来リハビリをご希望の方はかかりつけ医などの主治医とご相談いただき、当科へご紹介いただくと幸いです。(適応疾患、全身状態等を考慮し、相談させていただきます。)

また生活習慣病から動脈硬化性疾患の予防を目的に血管診療センターを外来で行っています。血液検査にはじまり、運動負荷心電図、血管エコーの検査などいろいろ血管機能の評価や頸動脈、冠動脈の評価の相談、食事・生活指導が受けられます。1次予防目的の患者さんだけでなく、2次予防目的の患者さんも受診されており、治療の一助となっているものと思います。検診異常のある方や、生活習慣病を治療中であるが、動脈硬化性疾患が心配な方は是非当院の血管診療センターを受診してみたいかがでしょうか。

## NST活動について

NST(栄養サポートチーム)とは、多職種がチームを組んで、患者さんの栄養状態の評価を行い、最適な栄養療法の提案を行うチームです。

当院ではチーム医療の一環として、平成16年4月よりNSTを立ち上げ、NST回診・ミーティング・研修会を柱として活動しています。



### NSTメンバー

医師・看護師・管理栄養士・薬剤師  
臨床検査技師・理学療法士・言語聴覚士  
歯科口腔外科医師・歯科衛生士

NST回診は週に2回、火曜日・木曜日に行っています。



対象者は、低栄養・嚥下機能障害・経管栄養施行中・食欲不振などの患者さんが多くなっています。

まず、対象患者についてカンファレンスを行い、その後、病棟へ回診に行きます。

回診で話し合った意見をまとめ、「栄養剤の選択」「排便状況」「薬の選択」「リハビリの介入」「口腔ケア」等の提案を行っています。

NSTが介入する事で、下痢など消化器症状の早期改善や、嗜好に応じた補助食品の提案による、摂取栄養量の増加に寄与しています。また、受傷後すぐは経口摂取が難しく、一時的に経管栄養となった患者さんが、再び口から食べられるようにサポートも行っています。

当院は日本静脈経腸栄養学会(JSPEN)の認定教育施設です。

JSPEN認定NST専門療法士の育成や、スタッフのスキルアップを目的として、院内NST研修、症例検討会を計画し、実施しております。

NST専門療法士研修会を開催しています。  
(全5回、5日間)

年に1回全ての研修プログラムを受けると、日本静脈経腸学会認定NST専門療法士の受験資格の一つである、40時間の実地修練として認められます。



### NST専門療法士研修会プログラム

講義：毎年7～9月 3日間(土曜日・日曜日)

NST医師、消化器内科医師、  
コ・メディカル、各種業者による講義

臨床実習：毎年9月 2日間(水曜日)

合計5日間(8時間×5日 40時間)の実習です。

※年度によって、日程、プログラム内容は変更することがあります。

毎年、年度初めにホームページ上にて受付開始のお知らせを行います。

詳しくは、栄養管理室までお問い合わせ下さい。



### 🍴 栄養指導を受けてみませんか？

かかりつけの医院に栄養士が居ないけど、ご飯の話を知りたい…  
そんな方を対象に、栄養指導を受け付けています。(かかりつけ医より、栄養指導の依頼をしていただく必要があります)

ご希望の方は、尾道市立市民病院 地域医療連携室までお問い合わせ下さい。(電話番号：0848-47-1170)



## 接遇委員会よりアンケート結果のお知らせ

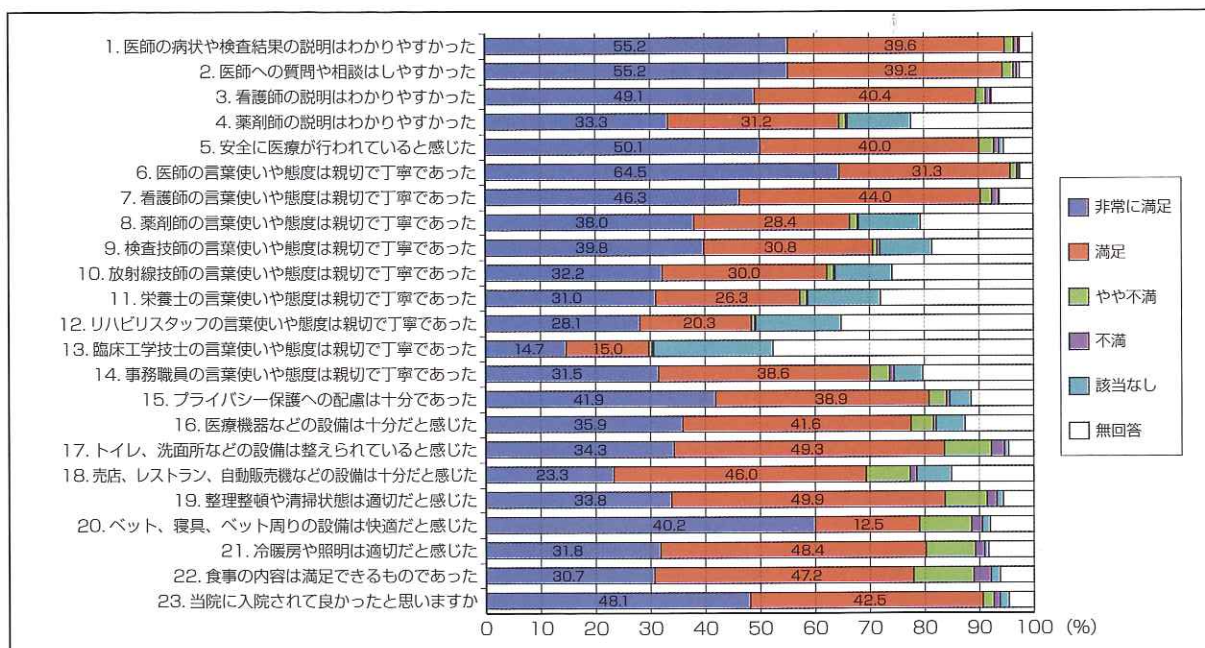
接遇委員会は、患者さんに選ばれる病院、患者さんも職員も共に満足できる病院づくりを目指し、院内各部署からの代表26名を構成メンバーとして活動しています。

毎月1回委員会を開催し、接遇についての報告や意見交換を行うほか、職員の接遇スキルの向上を目的とした研修会の開催、また、3ヶ月

に1回、患者さんやご家族へのアンケートを行っています。アンケートの結果を分析し、貴重なご意見を検討することで、より満足度の高い医療を提供できるよう、接遇や院内設備の改善に役立てています。

以下は2016年度のアンケートの集計結果の一部です。

### 2016年度入院患者様アンケート結果 (2016年4月～2017年3月)



## 「第30回厚友会文化祭」開催・展示作品について(お知らせ・募集)

今年度も当院にて文化祭を開催いたします。

文化祭は、病院職員のクラブ活動の成果発表や、患者さん・地域の皆様との交流のために行っているものです。

今回、11月25日(土)においては、病院祭りとの同時開催となりますので、例年以上に盛況となるものと予想しております。皆様どうぞお気軽にご来場下さいませようお願いします。

また、開催に伴い文化祭に展示する作品を募集しますので、ぜひご応募下さい。

### 1. 日程・内容

日時：平成29年11月24日(金)～25日(土)

場所：尾道市民病院 新館4階 大会議室

内容：作品展示・お茶会・アロマ  
マッサージ等を予定。

### 2. 作品展示物の募集

文化祭開催につきまして、地域の皆様から文化祭へ展示する作品を募集します。

#### 【募集作品】

絵画・書・陶芸・手芸・写真・生花など、ご自身で作成されたもの。  
※壊れやすいもの・高価なもの等の出品はお控え下さい。

#### 【応募締切】

11月21日(火) 17時00分まで

#### 【お問い合わせ・お申し込み】

下記担当までご連絡下さい。

担当：尾道市立市民病院 医事課 岩田

TEL：0848-47-1155(内線119)



科別診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで (救急は随時)  
 休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

診療科	科別	月	火	水	木	金	備考
内科	午前	1 診	水戸川 剛秀 (内科全般)	金尾 浩一郎 (腎・内科全般)	水戸川 剛秀 (内科全般)	平野 紘康※1 (リウマチ・膠原病)	※1 予約制
		2 診	開原 正展 (腎・高血圧)	開原 正展 (腎・高血圧)	金尾 浩一郎 (腎・内科全般)	山脇 泰秀	
		3 診	野島 一郎 (糖尿病)		山脇 泰秀	長澤 紗詠子 (糖尿病)	
		4 診				浅野 洋介 (総合診療)	
	午後		検診 野島 一郎	検診	検診	検診 長澤 紗詠子	
総合診療科	午前	藤本 靖郎		藤本 靖郎	麻生 光美	藤本 靖郎	
	午後	藤本 靖郎		藤本 靖郎	山脇/麻生	藤本 靖郎	
呼吸器内科	午前	西井 和也(予約)	西井 和也(予約)	片岡 幹男		大橋 圭明※4	※4 10月第3、4金曜日
	午後	検査			岡本 誠 ※5	河合 良成	※5 14:00~17:00
消化器内科	午前	1 診 松本 栄治	平岡佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 欽生	
	午後	検査	検査	検査	肝臓専門外来※6	検査	※6 担当医(河合)
循環器内科	午前	1 診 山田 大介	岡光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	心臓リハビリテーション外来 (月・水・金)15:00~16:00
	午後	診察 小林 博夫	ペースメーカー外来※7	心カテ 経食工コー	心カテ 経食工コー	心カテ 経食工コー	※7 第1・2火曜日 14:00から 13:00~17:00
神経内科	午前		岡本 美由紀				予約制
外科 (肛門科)	1 診	川真田/小野田	宇田 征史	宇田 征史	小野田 正	村田 年弘	
	2 診	井上 弘章	上塚 大一	木村 圭佑	川真田 修	川真田 修	
	午後	手術 (ストーマ外来) ※8	検査	手術	検査	手術	※8 第2・4月曜日
血管外科	午前		越智 吉樹		越智 吉樹		
乳腺外科 (乳腺外来)	午前	高橋 侑子				下妻 晃二郎(予約)	9:00~12:00
整形外科	1 診	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	
	2 診		迫間 巧将	渡邊 益宜	渡邊 益宜	渡邊 益宜	
	3 診	藤井 淳一	小野 智毅	迫間 巧将	梅平 将太	小野/藤井※9	※9 小野(第1・3・5金曜日)
	4 診	梅平 将太	装 具			装 具	※9 藤井(第2・4金曜日)
	午後	手術	手術	手術	手術	手術	
形成外科	午前		原 直紀				
	午後		原 直紀				
小児科	午前	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹※10	井上 直樹	井上 直樹	※10 第2水曜日休診
	午後	予防接種	乳児検診 栄養指導	予防接種	林(発達外来) ※11 食物負荷試験	脇(循環器外来) ※12 低身長	※11 第1木曜日 ※12 第4金曜日(偶数月) ※13 第1・3火曜日
小児外科	午前		野田 卓男(予約) ※13				
脳神経外科	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂	
	午後	検査 土本(頭痛外来)	手術	検査	手術	検査	14:00から
産婦人科	午前	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	
	午後		母乳外来	母乳学級(第3週)	母乳外来	1週間検診	
皮膚科	午前	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	
	午後	検査	手術	手術	検査	検査	
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	河田 達志	大枝 忠史	能勢 宏幸	大枝 忠史	
	2 診	能勢 宏幸	大枝 忠史(予約)	能勢 宏幸	大枝 忠史(予約)	河田 達志	
耳鼻いんこう科	午前	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	広島大学病院より
眼科	午前				謙見 久恵		午前のみ
放射線科	画像診断	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	
	治療	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	
	午後	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断	予約制
歯科口腔外科	午前	吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘	
	午後	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約制

専門外来のご紹介(予約制)

- 月 曜：ストーマ外来(第2・4) / 頭痛外来
- 火 曜：ペースメーカー外来(第1・2週) / 睡眠時無呼吸外来 / 緩和ケア相談外来(午前)
- 水 曜：禁煙外来(毎週) / フットケア外来(第2・4週)
- 木 曜：肝臓専門外来 / 小児発達外来(第1週) / 緩和ケア相談外来(午前) / 緩和ケア(精神)外来(第2週) / 緩和ケア(身体)外来(第4週)
- 金 曜：乳腺外来(午前) / 小児循環器外来(偶数月/第4週)

